新型コロナウイルスに対応する一年

美里町長　原田信次

町民の皆様におかれましては、健やかに令和三年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政推進にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスに振り回された年でした。人が集まる行事はほぼ中止となり、少し気が緩むと感染者が増大。昨年末は第3波なのか全国的に感染者が過去最高を更新しました。

町民の皆様には、新型コロナウイルスが流行してから初めての冬を迎え、年末年始は親族や親しい友人達との交流のある特別な時期でもあります。

しかし、これ以上の感染拡大は、医療を逼迫し、必要な治療が受けられなくなる恐れがあります。懸命に医療に従事する皆様、介護を始めとする福祉関係の皆様のご苦労に対し、御礼を申し上げますと共に、私たちにできることは感染者を増やさない中で日常生活を送ることが何より大切です。昨年末の感染の広がりは、若い人が家庭に持ち込み、高齢者や持病のある人が重症化している特徴があるようです。

年末年始は、休診する医療機関が増えます。次のことを心がけてください。

①忘年会・新年会

・なるべく普段から一緒にいる人と少人数で
・ガイドラインを遵守している飲食店を選ぶ
・体調が悪い人は参加しない
・相向かいは避け、座の配置は斜め向かいに
・会話するときは必ずマスクを着用
・短時間で深酒やはしご酒は控え、適量を
・お猪口やコップは使い回さず一人ひとりで

②初詣・カウントダウンイベントなど

・三密や混雑をできる限り避け、感染防止の徹底
・適切な行動管理が難しいイベントは自粛を

③年末年始の帰省

・三密回避、大人数の会食を控えるなど、高齢者などへの感染拡大に注意を
・帰省の慎重な検討や休暇の分散、混雑時期を避ける

町民の皆様には、うつさない、うつらないために、自分や相手のかたが感染している前提で行動すれば、感染は減少できると思います。最愛の家族や友人を守るため、気を緩めないようお願いいたします。

ところで、悲願の関越自動車道寄居スマートICがようやく3月末に全面開通（東京方面への入口、新潟方面からの出口の開通）し、新たな時代の美里町のまちづくりが始まります。

新型コロナウイルスに上手く対応し、皆様にとって幸多き年となりますことを祈念いたします。

新たな時を進む まちのスタート

美里町議会議長　橋場倖男

謹賀新年

町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、美里町議会に対しましてご理解ご協力を賜り、厚く厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、日本においても、昨年暮れの第3波による感染拡大など経済、生活、教育等に大きな影響を与え、企業や自治体、国民一人一人がコロナ禍の「新しい生活様式」で感染拡大防止と社会経済活動の両立に取組んでいると拝察いたします。

災害対策についても、近年は大地震の甚大な被害、100年に一度の勢力と言われる台風やゲリラ豪雨が多発し、町内でも水害等による甚大な被害がもたらされましたが、早期に復旧いたしました。さらに、災害対策として「美里町地域防災計画」を全面的に見直し防災体制の強化に努めております。

また、昨年は、美里町長選挙で「次の時代の町づくり　町民と共に」を掲げて、原田町政4期目始動、9月には菅内閣の発足、またアメリカ合衆国大統領にバイデン氏の就任が確実となり、本年1月からのスタートに期待しております。

美里町議会としても、住むのなら「安心安全の美里町」とアピールできるような取組の一翼を担っていく所存であります。

今年は、美里町として念願していた大イベントである関越自動車道寄居スマートICの上り線が3月に開通する予定です。コロナ禍の影響で、生活様式が大きく変化する時代の中で、新たな町の魅力として今後の発展につなげていただきたいと期待しております。

結びに、今年一年、我が美里町で町民の皆様が共に夢と希望を持ち「隅々まで幸せに」なる幸多き年となることを御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

町長が選んだ 令和2年 町の5大ニュース

1 美里町在住の分須尊紀さんが、「全国高校陸上競技大会3000mSC」優勝！

2 「猪俣の百八燈」が、「ダイドーグループ日本の祭り」に認定

3 美里町観光大使第1号きゅるべり桜花さん、美里町観光大使第2号寿々乃舞さん就任

4 寄居スマートインターチェンジ上り線が、令和3年3月中に開通予定となる

5 再選を果たし、安全・安心、健幸な町づくりの実現に向けて4期目始動！

令和２年10月25日㈰の大会。分須さんの記録は８分51秒31で、高校歴代９位、今年度の高校ランキング１位、日本ランキング15位（令和２年10月末現在）の成績を残しました。